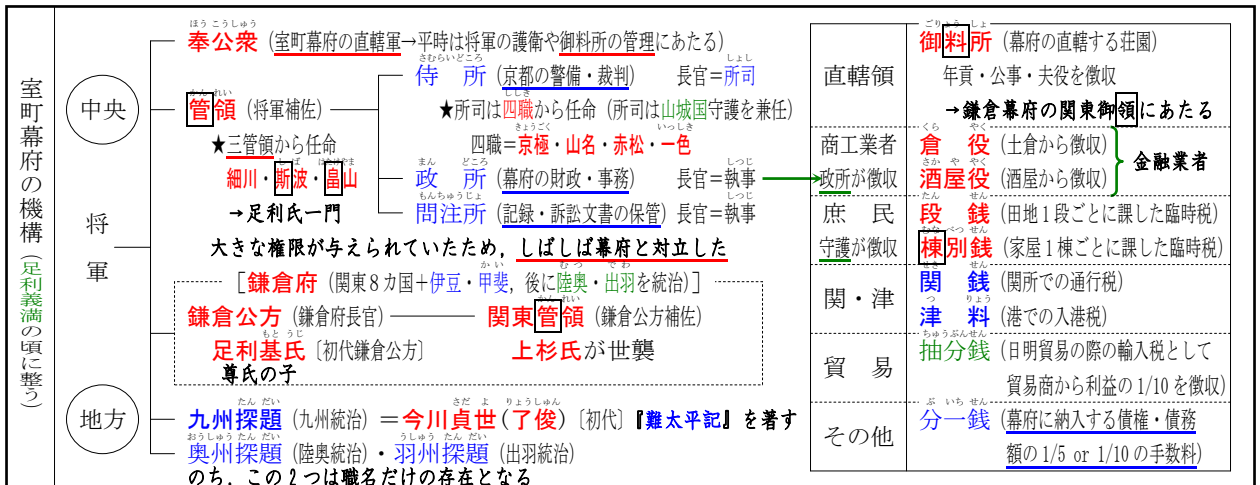


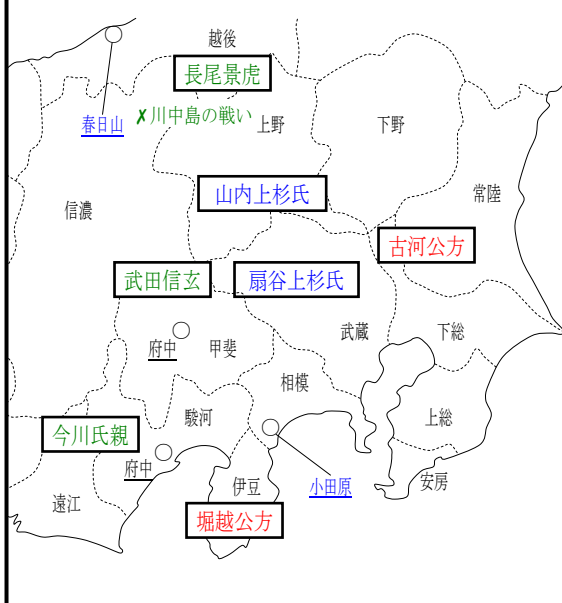
- 32 -

[A] 室町幕府の職制 (P26 対応箇所)



[B] 関東の争乱 (P33 対応箇所)

図解NOTE② [関東の争乱]



<鎌倉公方の分裂>

- ①永享の乱後、関東管領の上杉氏が鎌倉府の実権を握る
→享徳の乱(1454) (足利成氏 [5代鎌倉公方] が上杉憲忠 [関東管領] を殺害)
- ②足利義政 (8代將軍) は兄弟の足利政知を関東へ派遣
★成氏は対抗するため下総の古河へ入る⇒政知は関東に入らず伊豆の堀越にとどまる
- ③鎌倉公方の分裂→古河公方 (下総国) = 足利成氏 (足利持氏の子)
→堀越公方 (伊豆国) = 足利政知 (足利義政の兄弟)
- ④関東管領の対立→山内上杉氏・扇谷上杉氏

<後北条氏の台頭>

- ①伊勢長氏 (宗瑞) (もと今川氏家臣→のち北条早雲と名乗る=後北条氏の祖)
堀越公方の足利茶々丸 (政知の子) を滅ぼして伊豆を奪取
→のち相模を制圧して、小田原 (相模国) を本拠とする
- ②北条氏綱 (早雲の子→初めて北条氏を称する)
- ③北条氏康 (氏綱の子→北条氏の全盛期を築く)
扇谷上杉氏・古河公方を滅ぼし、山内上杉氏も圧迫
→山内上杉憲政は越後の長尾景虎 (のち上杉謙信) を頼る
- ④北条氏政 (氏康の子→1590年に豊臣秀吉に滅ぼされる=小田原攻め)